

第1回 慢性便秘エコー研究会 プログラム

日時：10月16日（土） 14:00～18:00

実施方法：ハイブリッド開催（現地+Web 配信）

14:00－開会の挨拶 加藤元嗣（国立病院機構 函館病院 院長）

特別講演 I（14:10－14:40）

座長：中島淳（横浜市立大学大学院医学研究科肝胆膵消化器病学教室 教授）

演題：包括的な慢性便秘症診療におけるエコーの位置づけ ～臨床現場での便秘エコー検査活用法～

演者：眞部紀明（川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波）教授）

一般演題（14:40－17:20 12 演題 発表 7 分、質疑応答 5 分）

一般演題 I

座長：中島淳（横浜市立大学大学院医学研究科肝胆膵消化器病学教室 教授）

1（14:40－14:52）

総合診療クリニックに来院した小児患者への便秘エコーの活用症例

植村和平（北海道家庭医療学センター 栄町ファミリークリニック）

2（14:52－15:04）

エコーと CT による直腸便性状評価の検討

三澤昇（横浜市立大学附属病院 消化器内科）

3（15:04－15:16）

携帯型超音波を用いた緩和ケア領域の便秘に対する point of care ultrasonography の有用性

山本敦史（藤沢湘南台病院 消化器内科）

4（15:16－15:28）

腹部超音波検査を用いた機能性便秘の検討

津田桃子（国立病院機構函館病院 消化器科）

5（15:28－15:40）

肛門科専門病院における摘便症例の検討

松島誠（松島病院大腸肛門病センター）

6（15:40－15:52）

小児直腸径基準値の検討

冨本和彦（とみもと小児科クリニック）

休憩（8分）

一般演題Ⅱ

座長：真田 弘美（東京大学大学院医学系研究科老年看護学/創傷看護学分野 教授）

7（16:00－16:12）

訪問看護師によるエコーを用いた大腸便貯留の観察に基づく下剤調整が肝性脳症の悪化予防につながったと考えられた一例

新関こずえ（よどきり訪問看護ステーション）

8（16:12－16:24）

A病院における便秘時指示のあり方がエコー活用により見直された1事例

大森桂子（京都保健会吉祥院病院 看護部）

9（16:24－16:36）

エコー下浣腸で薬液漏出予防を図ったことで残便感が緩和し計画排便が実施できた1例

浦田克美（東葛クリニック 病院看護部）

10（16:36－16:48）

経臀裂アプローチ走査法による超音波所見に基づく直腸便性状分類の精度評価

佐野由美（東葛クリニック病院 検査部）

11（16:48－17:00）

超音波検査を用いた大腸便貯留のモニタリングによる大腸内視鏡検査前の bowel preparation の評価

松本勝（東京大学大学院医学系研究科社会連携講座イメージング看護学）

12（17:00－17:12）

腹部超音波検査による直腸評価の検討

小野寺友幸（国立病院機構函館病院 検査科）

休憩（8分）

特別講演Ⅱ（17:20－17:50）

座長：真田弘美（東京大学大学院医学系研究科老年看護学/創傷看護学分野 教授）

演題：小児慢性機能性便秘症診療ガイドラインと便秘エコーの現状について

演者：中山佳子（信州大学医学部小児医学教室 准教授）

17:50－閉会の挨拶 真田弘美（東京大学大学院医学系研究科老年看護学/創傷看護学分野 教授）

共催：EA ファーマ株式会社／持田製薬株式会社／富士フィルムメディカル株式会社